

令和4(2022)年度 経営健全化方針に基づく取組状況

1 基本情報

所管部署:産業振興部 商業観光課

名称	株式会社 じよんのび村協会 代表取締役社長 吉村英治				
所在地	新潟県柏崎市高柳町高尾10-1	電話番号	0257-41-2222		
		ホームページ	https://www.jon-nobi.com/		
設立年月日	平成4(1992)年3月25日				
事業内容	温泉・宿泊休養施設等の管理運営				
資本金	61,050 千円	市出資(出捐)金	33,300 千円	市出資割合	54.6%

2 経営健全化方針を策定した理由

・経常収支が4期連続赤字となったため、経営健全化方針を策定した。

3 財政的リスクの状況(決算状況)

単位:千円

	方針策定年度 R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	目標達成年度 R6(2024)年度
債務超過額(千円)	0	11,299	16,965		

4 主な取組状況(令和4(2022)年3月現在)

【法人自らによる経営健全化のための具体的対応】

- ・特徴的な泉質を生かしたプロモーションの実施、入浴備品の入替え、各種入浴割引特典の見直し、入浴料の値上げの実施
- ・宿泊システム等の入替えによる宿泊予約の効率化及び自社予約比率の向上、国県市の割引キャンペーンを活用した独自プロモーション、宿泊プランの設定、新潟県ワーケーション事業への参画
- ・日帰り食事新メニューの開発・提供、宴会・法要プランの設定、日帰りバスツアーの誘致、夕食メニューの開発による客単価の向上
- ・売店の販売商品の充実、オンライン販売の実施、自社製野菜の販売、在庫管理のシステム化

【市が行った財政的リスクへの対処のための対応】

- ・株式会社じよんのび村協会に対する経営改善に取り組む代表取締役の報酬に係る経営支援負担金の支出
- ・集客の維持向上を図るため、施設や設備の修繕、施設周辺の環境整備の実施
- ・新代表取締役が進める各種営業・プロモーションの情報発信の後方支援の実施
- ・新潟県ワーケーションモデル事業への参画

5 法人の財務状況(決算状況)

(貸借対照表から)

単位:千円

項目	方針策定年度 R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	目標達成年度 R6(2024)年度
総資産額	63,725	53,924	40,050		
(うち現預金)	50,809	43,018	26,370		
(うち売上債権)	5,509	3,024	3,251		
(うち棚卸資産)	3,504	3,522	3,763		
負債総額	49,324	65,223	57,015		
(うち市からの借入金)	0	0	0		
純資産総額	14,401	△ 11,299	△ 16,965		

(損益計算書から)

単位:千円

項目	方針策定年度 R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	目標達成年度 R6(2024)年度
経常収益	49,637	76,487	122,709		
経常費用	78,011	116,199	153,619		
経常損益	△ 28,374	△ 39,712	△ 30,910		
経常外損益	22,028	14,012	25,244		
当期純損益	△ 6,346	△ 25,700	△ 5,666		

6 外部有識者の意見

コロナ禍からの回復傾向に加え、法人としての様々な取組が寄与し、売上高が大幅に改善していることは良い傾向であると評価できる。一方、売上高は伸長したものの、固定費の十分な回収には至っておらず、経常損益額は改善傾向にあるとはいえ、赤字の状態が続いている。経常外損益でまとまった損益を確保できたことにより、最終的な当期純損益は過年度対比では良好な水準での着地となった。現預金は依然として漸減基調にあり、まずはフリーキャッシュフローの黒字化確保に向け、引き続き経営改善の努力が求められる。厳しい事業環境の中で創意工夫を重ねて事業改善に努める姿勢は評価できるが、純粋に事業面を見た場合には、厳しい外部環境下においても持続可能な経営状態を実現するため、より効率的な経営を目指していただきたい。